

大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第 61 号
2018 年 6 月 29 日発行



夜空に天の川の美しい季節となりました。
待望の夏休みもうすぐですね♪



- * 大事協は次の意義のもと、設立・活動しています。
- * ご確認をお願いします。

- ① 大島地区小・中学校事務職員全員参加の「輪(わ)＝会」を目標とする。
- ② 本会は、地区内の緩やかな繋がり・親睦・融和・資質向上を目指す。
- ③ 大島地区内における情報交換の場とする。
- ④ 実務研修の充実を図る。

<会長あいさつ>

緑が丘小学校 牧 武志

先般の大事協総会・交流会お疲れ様でした。

今年度大島地区 93 人の仲間と「輪を持って繋がり、情報交換の場を提供し、互いに資質向上できる」環境作りを自分なりに頑張りたいと思います。

各市町村・ブロック単位の研究事例発表も新しい方式でスタートします。社会の変化を逃さず、学校教育法 37 条 14 項の改正を追い風に、各市町村事務職員会で学校財務取扱要綱(規程)制定や校務分掌機構図での事務部・予算委員会等の位置付けに取り組みしましょう。

結びに、「地区内の仲間が等しく情報を共有・享受し連携できる」ように夏の現状報告会や地区内の諸課題を繋ぐパイプ役として大事協運営に励むことを約束し、挨拶いたします。

<平成 30 年度 大事協役員>

本年度の役員が総会で承認されました。

| 職 名 | 氏 名 | 勤 務 校 |
|---------|----------------|-----------|
| 会 長 | 牧 武 志 | 緑が丘小学校 |
| 副会長(総務) | 吉 元 浩 | 神之嶺小学校 |
| 副会長(研修) | 牧野田 春乃 | 芦花部小学校 |
| 書 記 | 笠 公 等 | 金 久 中 学 校 |
| 会 計 | 岩 川 理 | 大 勝 小 学 校 |
| 監 事 | 宇 検 村 から 選 出 | |
| 監 事 | 瀬 戸 内 町 から 選 出 | |

☆県費事務改善検討委員会委員

田上 陽平(名柄小中学校)

どうぞよろしくお祈いします



平成 29 年度副会長 吉澤先生、会計 竹ノ内先生、書記 松木先生、おつかれさまでした。

<交流会 会計報告> 会計 岩川 理

今年度も、第 1 回大島地区小・中学校事務職員研修会終了後、交流会が開催されました。その会計報告をいたします。多くの方の御参加、ありがとうございました。

(収入)参加費

4,000 円×81 名+1,000 円×3 名=327,000 円
(会員 76 名, 補助 1,000 円×76 名分)

(支出)料理・飲み物代(税込み)

4,000 円×81 名+1,000 円×3 名=327,000 円
折中コース・飲み物 お子様ランチ

(収支)327,000 円 - 327,000 円 = 0 円



<各地区からお便り>

今回の原稿は、①喜界町、②与論町からいただきました。また喜界町からは支援室だよりもいただきましたので、ぜひご覧ください。

①喜界町学校事務職員研修会

喜界町立早町小学校 岡部 信也

白地に黒のマダラ模様の羽を広げると、15センチメートルもある大型の美しい蝶で、優雅に舞う姿から“南の島の貴婦人”とも呼ばれるオオゴマダラ蝶と、現在も年間約 2mm 隆起を続けている世界有数の隆起サンゴ礁の島、喜界島の喜界町事務支援室です。本町はほとんどがサンゴを起源とする石灰岩で出来ており、低い丘陵地が多く、地下ダムの建設と水路の敷設によりサトウキビ畑などの開発が進んでおり、生産量が安定しています。また、白ゴマの生産量は国内首位。花良治(けらじ)みかんやタンカンなどの柑橘類、ソラマメ、パパイアの産地としても知られ、近年はトマト、マンゴー、メロンの栽培も増えてきています。



さて、喜界町事務支援室は本県でも最小の3名の事務職員で業務を行っています。ただし、人員構成は、中堅以上で構成されており、中学校は臨時的任用事務職員ですが、学校再編以前から本町で事務の仕事をして、ベテランの域に達しており、本町のことを色々教えていただけます。そして、3名で和気あいあいとやっています。

本年は、毎月1～2回事務支援室業務を計画的に開催し、年間18回開催する予定です。

県費関係事務の相互自主検査は、本年度は、4月、7月、10月、1月に自主検査の事前審査として行う予定で、学校数が少ないためできる事かもしれませんが、昨年度同様、1日日程で3校全てを回って帳簿等の点検を行い、事務の精度を上げ、給与・旅費関係帳簿の事務の適正性・一貫性の確保と、過年度返納処理の防止を目標に行っていきたいと思っています。



昨年の町予算要求書の中で、本年度より更紙の使用を推進して行く予定で予算要求してあり、共同実施の中で更紙の共同購入を行っています。

そして、将来的には、各校で共通に必要な備品や消耗品の購入等も共同実施の中で行っていけるようになればと思っています。

就学援助費事務については、事務改善として就学援助事務の手続きに関するマニュアルを昨年作成しましたが、昨年の末に就学援助費事務の大幅な改案が教育委員会からなされたので、本年度は、改善された部分のマニュアルの修正を行う予定です。

給食費の事務改善については、昨年度からの共同実施の中で、給食費会計事務の改善案の検討を行い、事務職員研修会の中で、現金による徴収ではなく、より安全で問題の起こりにくい給食費の口座振替や、金融機関での納付書による給食費の納入、未納者に対する児童手当からの引き落としの推進や給食費の完全な児童手当からの徴収方法等について提案を行ってききましたが、将来的に給食費の徴収事務については、給食センターが行うこととなったため、本年度はその事務処理がスムーズに移行することが出来るように、共同実施の中で「児童手当による徴収」の移行後に想定される事務手続き等についてのシミュレーションを行っていく予定です。

また、現在使用している備品分類の内容が古くなっており、この備品分類については町で規定されたものでなかったため、備品分類の内容の情報刷新を行い、使用しやすいものに変更して行く予定です。

本年度は少数精鋭を活かし和気あいあいとしながら、先に記載した幾つかの課題を支援室を通じてしっかり実施しながら、どうすれば、或いは、何をすれば共同実施が教育支援に繋がっていくのかを考えていきたいと思っています。



②与論町事務職員会

与論町立与論小学校 坂元 隼

皆様こんにちは、与論町事務支援室です。

美しい奄美群島の最南端に浮かぶ与論島。目を奪われるほど碧く美しい海、そして、それに負けないうらい綺麗で暖かい心を持った島民たちの笑顔に溢れる素晴らしい島です。

与論町事務支援室では、小学校3校、中学校1校の4名で月に2回の定例会を実施しています。4名中3名が若年経験者であり、業務知識の蓄積も踏まえ、日頃から連携を密にしています。

旅費請求書を毎月全校で点検したり、学期毎の消耗品共同購入を実施したりするなど、全般的な分野で相互協力を努めています。夏季には、「合同安全点検」を実施して全事務職員と教育委員会担当者で、全4校の施設を視察し、課題を共有しています。また、昨年度、本支援室で数年ぶりとなる管外研修を行いました。義務教育学校の実情など、業務の幅と違いを体感できた貴重な機会となりました。本年度以降も計画的な実施ができればと考えています。

さらに、昨年度より、町費予算執行システムの手引書となる「財務会計マニュアル」の作成を開始しました。昨年度は、各校で手分けしながら、謝金支払い、備品廃棄、補正予算要求書作成、予算流用について手続きの流れを資料にまとめました。今後も、初めて与論町に赴任した事務職員が投げ所とできるように、わかりやすい解説に努めていきたいです。

与論町では、島伝統の「誠の心」を持つ子どもたちを育むべく、「教育の島」として地域一体で努力しています。与論の子どもたちを、奄美群島のかげがえのない宝として輝かせるため、地域の一助となれるよう、今後も努力して参ります。



原稿を集約・編集してくださった奄美市東部ブロック、提出してくださった喜界町・与論町、ありがとうございました。

